

CENTENARY

2009. 12 . 21

第 41 号

兵庫県立加古川西高等学校



教育目標 人格の形成

河川敷清掃 ボランティア

19日(土)に、今年も加古川の河川敷清掃ボランティアを行いました。朝から冷たい北風が吹き抜ける寒さの中、320名の生徒諸君が頑張ってくれました。

河川敷は加古川マラソンのコースになることから、参加される方に気持ち良く走ってもらおうと熱心に取り組みんでくれました。拾い集めたゴミは加古川市の職員の方が軽トラックで運んでくれました。その量、なんと3台。生徒の頑張りが窺えます。



男子は大きいゴミを



大漁や! しかし...



堤防の上まで綺麗に!

生徒は部活動単位での参加が中心でした。



河川敷で最初の挨拶



寒くても生徒は元気です。短パンで参加しています。



のびるのびる。
「これ、美味しい」

それを頂いて、みんな大満足。美味しかった! 来年も頑張ろう。



「ハイ、どうぞ」
「ありがとうございます」

終わると今年も書道部のみんなが食堂で甘いゼンザイを作って待っていてくれます。



書道部のみなさん、ありがとうございます。



これがPCフレーム工法

麗ですね。棟、どうです? なかなか綺麗です。

この後来年7月から第2期工事(管理棟・昇降口)に入ります。この第2期では仮設校舎を建てる予定です。



校舎は耐震工事中

現在進行中の耐震工事は第1期工事(2月14日終了予定)で、部室・生徒棟・特別棟を行っています。

**ただ今
耐震工事中です**

ちょっと一言 ボランティアの語源は、ラテン語の Volo(志願者)です。英語では volunteer で、意味は志願兵です。日本では昔より、隣保・町内会・自治会など地域のつながりが強くあり、互いに助け合う習慣が構築されていました。しかし、そのよき伝統が風化しはじめていたところ、平成7年の阪神淡路大震災を機に、日本にボランティア活動が認知され、活発に行われるようになりました。この度の河川敷清掃で集められたものは、自然の時の流れの中で発生する、落ち葉や枯れ木ではなく、自分の都合で人為的に作り出されたゴミが大部分でした。ボランティア参加も大切ですが、一人ひとりが汚さない、ごみを出さない気持ちも大切です。